

## 2023年度 地区別懇談会を開催しました。

2023年10月1日～11月5日にかけて、地区別懇談会を開催しました。本会は北海道医療大学後援会が主催しており、全国15地区17会場で計529組(740名)のご父母の皆様にご出席いただきました。各地の懇談会では、後援会の臨時総会及び、ご父母同士の交流の場として立食形式の支部懇談会が開催されました。また、教員との個別面談が午前・午後の2部制で実施され、学生生活や成績等について熱心に相談されていました。地区別懇談会は、後援会が「ご父母の皆様と学園を繋ぐ貴重な架け橋」として最も重要視している事業のひとつであり、皆様により一



層ご満足いただけるよう、内容の更なる充実に向け、今後も改善を図って参りますので、温かいご支援、ご理解とご協力を賜りますとともに、来年度もぜひご出席くださいますようお願い申し上げます。

## 第5回台北医学大学・本学歯学部間 合同シンポジウムを開催しました。

2023年11月27日に本学歯学部と台北医学大学口腔医学院との第5回目となる合同シンポジウムが、本学中央講義棟10階にて開催されました。本シンポジウムは、2018年から始まり、両校が持ち回りで毎年開催していましたが、コロナの影響により、第3回・第4回はオンラインにて実施しており、今回、久々の現地開催となりました。両校からそれぞれ2名ずつ講演を行い、活発な質疑応答がなされました。また、シンポジウムの中で、両大学院で提携しているデュアル・ディグリー制度の協定更新式が行われ、



両学部長がそれぞれ、協定書に署名致しました。台北医学大学とは、薬学部・看護福祉学部間でも活発な交流があり、2024年3月には台北医学大学にて行われる短期研修に本学学部生を派遣する予定です。今後も両大学間の更なる交流拡大が期待されます。

## バスケットボール部 女子第68回 北海道大学バスケットボール選手権大会 2部リーグ優勝報告会が行われました。

2023年12月26日、北海道大学バスケットボール連盟女子第68回北海道大学バスケットボール選手権大会2部リーグの優勝報告会が行われました。女子バスケットボール部からは部員4名と高橋副部長が出席し、主将の町屋凜夏さん(理学療法学科3年)から学長・副学長へ大会の戦績、1部リーグ昇格及び今後の抱負が伝えられました。浅香学長ならびに和田副学長より賞賛と激励のお言葉をいただき、来年度から所属する1部リーグにおける更なる活躍と勉学との両立に向け、より一層気を引き締めた様子でした。本学バスケットボール部女子は、今大会において2部リーグを7勝0敗の戦績で優勝し、1部リーグ所属チームとの入れ替え戦にも勝利をおさめ、2014年度以来の1部リーグ昇格を果たしました。強豪ひしめく1部リーグにおいて更なる活躍が期待されます。

なお、本大会では以下の学生が最優秀選手賞を受賞いたしました。  
2部最優秀選手賞 山下 美子さん(看護学科2年)

## 本学医療技術学部 臨床検査学科 江本美穂講師が電子スピンスイセンス 学会奨励賞を受賞しました。

2023年11月2日～4日に神戸大学 百年記念館 六甲ホール・瀧川記念学術交流会館で開催された「第62回電子スピンスイセンス学会」において、本学医療技術学部臨床検査学科 江本美穂講師が奨励賞を受賞しました。今回の奨励賞は江本講師がこれまで研究を続けてきた、疾患モデルマウスに関する脳内酸化ストレスイメージング研究の功績に対して贈られました。受賞講演では、近年主に行っているEPRイメージング法を用いた、アルツハイマー病モデルマウスにおける脳内酸化ストレス状態とAβの蓄積や運動との関連などについて報告を行いました。今後、新たなプローブ開発や他のモダリティとの組み合わせを検討するなどして、アルツハイマー病早期発見に繋がる研究展開が期待されます。



演題名 病態解明に向けたEPR法による  
マウス脳内酸化ストレス状態のイメージング研究

### EDITOR'S NOTE

新型コロナの世界的流行が始まってから早5年目に入りましたが、本学ではこの春、コロナの流行の最中に入学した学生が卒業を迎えます。最初の年、学生が一人もいないキャンパスで、教室から教卓のPCの画面に向かって必死に話しかけて授業をしたことを思い出しますが、学生からも、あの時はオンライン授業で友達作りもしくしんどかったと聞きます。ですが、学生は制限の中でも、試行錯誤しながら多くのことを学び、様々な人との繋がりを作って来ました。コロナの流行以降、学ぶ場を維持し続けるために教職員が奮闘してきたことは勿論ですが、卒業まで頑張ってきた学生たちの奮闘を讃えたいと思います。大学という場は、すでにある知識や理論を習得するだけでなく、現在の価値観や常識(医療に直接関わることもそれ以外も)、自身が生きる社会や人間の在り方がこの先変化していく中でも、様々な視点から何をすべきかを判断し学び続ける人を育てる場ですが、コロナ禍を過ごしてきた学生たちは、図らずも、そうした当たり前が揺るがせられる状況に直面し続けていたと思います。本学での学びの意義を忘れず、この先も社会や人間、医療の在り方が変化する中でも自身がどう関わり何をすべきかを考え続けて欲しいと思います。本学もまた本年で創立50周年という節目を迎え、また昨年は数年後のキャンパス増設が発表される等、変化の波の中に居ますが、今後も医療系総合大学としての意義を考えながら様々な取り組みを行い、またそれを広報していければと思います。皆様のご支援ご協力を頂ければ幸いです。よろしく願い申し上げます。

(M.Y記)

## ADVANCE

北海道医療大学広報誌 No.182

STAFF ● 遠藤 泰 浜上 尚也 志茂 剛 飯嶋 雅弘  
内ヶ島伸也 奥田かおり 鈴木 和 青藤 恵一  
福田 実奈 大須田祐亮 山田 桃子 葛西 聡子  
近藤 啓 高橋 祐輔 秋元 奈美 三川 清輝  
小林 昭博 土橋 幸

発行日 ● 2024年3月

編集・発行 ● 北海道医療大学広報部 入試広報課  
〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757  
TEL: 0133-22-2113  
http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/

広報誌についてのご意見・ご要望・情報等をお待ちしています。  
E-mail: nyushi@hoku-iryu-u.ac.jp



■北海道医療大学の教育理念  
生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって地域社会ならびに国際社会に貢献することを北海道医療大学の教育理念とする。